

# 小中一貫教育だより

加東市教育委員会 小中一貫教育推進室

E-mail shochu-ikkan@city.kato.lg.jp

令和5年7月20日発行

## 社地域小小交流を紹介します。～社地域5小学校の4年生が交流しました～

6月1日（木）、社地域の小学校5校（社小、福田小、米田小、三草小、鴨川小）の4年生130名が、社小学校体育館で交流しました。

この5校交流は、令和7年度の社地域小中一貫校開校へ向けて、令和3年度から始まっています。

4年生の5校交流は、鴨川小の子どもの進行のもと、福田小、米田小、三草小、鴨川小の子どもたちが考えてきた全体遊びと、社小学校4年生3クラスがそれぞれ考えた学校紹介を交互で発表しあいました。

交流会は、終始、和やかな雰囲気の中で進みました。子どもたちは、あらかじめ進行、遊び、発表等の役割を分担し、「みんなが楽しめるように」と十分な準備をして交流会に臨んでいました。集団の前に立った子どもは、全体に伝わるように意識して話し、それを聞く子どもたちは、その思いをくみ取ってしっかりと聞くことができました。

中でも印象に残ったのは、社小学校の学校紹介の際に、舞台にあがった他校の2人が、紙コップけん玉に挑戦したときのことです。成功した子には、驚きの声とともに大きな拍手がおくられ、失敗した子には、「おいしい。」の声があがりました。バスを見送る際には、子ども同士で、

「また、会おうね。」の言葉が交わされるとともに、握手をしたり、大きく手を振ったりして別れを惜しむ姿がありました。次回12月の交流会での再会を楽しみにする思いが伝わってきました。

社地域では、すべての学年で5校交流を実施しています。毎年、交流を積み重ねていくことで、開校時には他の学校の子ともすぐに打ち解けることができるようになること、大きな集団の中でも自分らしさを発揮できるようになることをねらっています。今回の子どもたちの姿から、交流の積み重ねの成果を感じることができました。令和7年度の社学園開校に向けて、子ども同士の絆が深まっています。



【じゃんけん列車】



【社小クイズ】

## 滝野地域小小交流を紹介します。～滝野地域の5年生が自然学校で交流しました～

7月10日（月）から7月14日（金）までの5日間の日程で、滝野東小と滝野南小の5年生120名が、淡路青少年交流の家で一緒に活動しました。この日を迎えるにあたって、6月20日（火）に両校の5年生が滝野東小学校体育館で顔合わせをし、活動班に分かれて自己紹介をしたり、ゲームをしたりして交流しました。滝野南小の子どもたちにとっては、班に同じ学校の仲間が少ないこともあって、緊張した様子でしたが、滝野東小の子が話しかけて、打ち解ける姿が見られました。

自然学校3日目の7月12日（水）は、午前中は、砂の造形にチャレンジしました。活動当初は意見がなかなかまとまらず時間がかかりましたが、造るものが決まると、スコップ、コテ、バケツなどの道具を班で分け合い、息のあった活動で、雪（砂）だるま、ヤシの木、ウミガメなどの造形物を作り上げました。



【砂の造形】

午後は、カッターボートに乗る予定でしたが、雨により体育館でのまが玉づくりに変更になりました。カッターボートを楽しみにしていた子は多かったと思われますが、すぐに気持ちを切り替え、体育館でまが玉づくりに集中して取り組んでいました。

滝野地域は、滝野東小と滝野南小の人数差が大きいのですが、子どもたちがもつ人懐っこさやさしさが、人数差を埋めているように感じました。自然学校で深めた絆が、中学校での人間関係づくりに大いに役立つことでしょう。



【まが玉づくり】

## 東条地域 地域学校協働活動を紹介します ～田植え・花植え会・作品展～

教育委員会では、小中一貫校開校と同時に「学校運営協議会」を設置した学校（コミュニティ・スクール）として、「地域とともにある学校づくり」を目指し、取組を進めています。東条学園では、保護者や地域住民が学校運営に参加することで、育てたい子ども像や目指す教育ビジョンを学校と共有し、その実現に向けて学校と地域が協働して取り組んでいます。子どもの学びや成長を支える具体的な取組を実施してくださっているのが、地域学校協働本部を中心とした地域の方々です。地域学校協働本部は、地域学校協働活動推進員、学校運営協議会、区長会、まちづくり協議会、スポーツクラブ21、更生保護女性会、交通安全協会、シニアクラブ、子ども教室、PTA等の代表者によって組織された運営委員会において、地域学校協働活動の推進に向けて話し合いを行い、地域ぐるみで子どもたちを育む取組を推進しています。その取組を紹介します。

1つめは、6月14日（水）に開催された「田植え体験」です。地域の農家の方に田んぼをお借りし、5年生の子どもたち70名が田植えをしました。JAみのりの営農指導員の方から植え方の説明を聞いた後、子どもたちは、素足で恐る恐る田んぼの中に入っていました。子どもたちは、泥だらけになりながらも、すぐにコツをつかみ、田植え縄の印に沿って上手に植えていきました。1時間かけて植え終わった子どもからは、「田んぼの中は、足を入れると気持ち良かった。」「田植えは初めてだったけれど、楽しかった。」などの声が聞かれました。



【5年生田植え体験】

2つめは、6月18日（日）に開催された「天神地区花植え会」です。当日は、天神地区の方々と自主的に参加した1～9年生の約140名の学園生とで行われました。地域の皆さんに手ほどきをいただきながら、学園前の歩道沿いの花壇にサルビアなどの花を1つ1つ丁寧に植えていきました。活動の際には、地域の方と子どもとが会話を楽しみながら花を植える温かい交流が見られました。完成後、子どもの表情には、地域の美化活動に役立つことができた満足感が見られました。



【地域の方との花植え会】

3つめは、児童生徒の作品展です。東条学園では、子どもの作品の発表の場として、JAみのり東条支店、ミナクル、とどろき荘に図工・美術や詩などの作品を学年ごとに月替わりで展示しています。地域の方々に子どもの作品を見ていただくことで、子どもの学びや成長を感じてもらえています。



【とどろき荘での作品展】

このように、地域学校協働活動によって、子どもと地域が強く結びつくことで、子どもも大人も笑顔になり、魅力ある地域づくりにつながっています。